

魅力度向上対策特別委員会記録

1 会議の日時	令和2年3月10日	開 会 午前 9 時 5 8 分 閉 会 午前 1 0 時 3 6 分
2 会議の場所	第4特別委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 玉 田 和 浩 副委員長 佐 藤 武 彦 委員 村 下 貴 夫 伊 藤 秀 光 野 村 美 穂 布 俣 正 也 伊 藤 英 生 澄 川 寿 之 平 野 恭 子 平 野 祐 也 小 川 祐 輝
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	係長 横 川 真 澄 係長 佐 藤 貴 一	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 中間報告について	原案のとおり承認
2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○玉田和浩委員長

ただいまから、魅力度向上対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、当委員会の中間報告（案）について協議するために、開催したものである。

それでは、中間報告（案）について協議願う。

文案については、あらかじめ準備し、お手元に配付してあるので、書記に朗読させる。

（書記朗読）

○玉田和浩委員長

ただいまの中間報告（案）に対し、意見はあるか。

（「なし」の声あり）

○玉田和浩委員長

意見もないようなので、この文案のとおり決定し、報告することに異議ないか。

（「異議なし」の声あり）

○玉田和浩委員長

異議がないようなので、そのように決定する。

さて、本日の議題は終了したが、本年度は、中間報告にもあったとおり、「観光産業の基幹産業化」及び「県産農畜水産物の海外展開・販路拡大」をテーマとして、お手元の配付資料のとおり、調査活動を行ってきた。

せっかくの機会であるので、各委員に一言ずつ、視察の感想や来年度の調査テーマなどについて、意見をお聞かせいただきたい。

○佐藤武彦副委員長

新型コロナウイルスの感染拡大は、今まで経験したことがなく、観光ビッグイヤーに向けたこれまでの取組みや東京2020オリンピック・パラリンピックがどうなるかわからないが、その中でも最善を尽くしていくべきであり、今回の調査項目はどれも大切である。しっかりと進めていきたい。

○村下貴夫委員

岐阜県は観光地が多く、幅広い観光資源をクローズアップしていかないと一過性に終わってしまう。県全体で観光を盛り上げていただきたい。新型コロナウイルス感染症は、「食」にも影響しており心配だが、観光と関連付けて対策を練ってもらいたい。大河ドラマの取組みは、県を挙げて盛り上げており素晴らしい。取組みが加速できるように、今後、舞台が岐阜から移った時に何をやるかが重要である。岐阜県の観光のイメージアップに知恵を出してほしい。

○伊藤秀光委員

観光入込客数等が上り調子の時に新型コロナウイルス感染症が発生したが、乗り越えられるように努力願いたい。今年、岐阜関ヶ原古戦場記念館のオープンもあり、宣伝していきたい。

○野村美穂委員

また行きたくなる仕掛けづくりが重要である。特に、土産を手頃な価格で持ち帰ってもらい、気に入ってもらって、広がっていくというのが簡単ではあるが必要だと思う。歴史と史跡は変えられないが、発信の仕方はいかようにもできるため、工夫してもらいたい。大津市にある明智光秀ゆかりの西教寺では、妻照子が黒髪を売って光秀を支えたという伝承にちなんで、ヘアドネーションの儀式を和服姿で実施したと聞いた。観光部署だけでなく、他部署と組むことで、違う効果も生み出せるのではないか。

○布俣正也委員

観光に行けないストレスがある中で、新型コロナウイルスの終息後に備え、しっかりと準備する必要がある。観光国際局長は、5月に予定している北米でのトップセールスの事前調査に行ったようだが、

手応えがあれば後ほど聞きたい。

○伊藤英生委員

視察で行った京都の広域連携は興味深い。常設の事務局、専任の職員を確保し、稼ぐ体制を整えている。広域連携・周遊型観光を進める上で非常に参考となった。専門の人材を確保するという取組みを進めるべき。

○澄川寿之委員

2019年は、2020年に向けた準備の1年で上がり調子であったが、今年は、それをどうキープできるかである。観光消費額を地域に還元する仕組みを作っていくことが大事。そういう意味で土産開発は素晴らしい。岐阜県には良いものが多いが、東京で売るには、もうひと工夫必要。長く続けていくには、県産品が消費されるような工夫を定着させることが大事。

○平野恭子委員

新型コロナウイルスで大変だが前向きに取り組んでほしい。視察で行った京都府は、医療や観光といったいろいろな分野で地域連携ができていたので、岐阜県でも取り入れてほしい。

○平野祐也委員

日本全体がインバウンドに頼りすぎている部分がある。日本人が国内に向けてシビアな目を向けている。こうした中で、名だたる観光地が岐阜県にあるということが浸透していないので、そこを伝えるところから始めないといけない。

○小川祐輝委員

京都府の視察では、その地で何ができるのかが大事と感じた。福知山でも体験メニューの開発がされており、日本ならではの非日常的な体験が外国人に好評だと聞いたので、そうした尖った体験メニューを作してほしい。

○玉田和浩委員長

海外からの個人客に対する体験型観光を進めることが今後の観光には良いと思う。例えば、世界農業遺産になった「清流長良川の鮎」に関連して、育まれた文化、鮎の漁法の体験ができたり、中山道めぐりなどを掘り起こしていったらよいと思う。県内の大河ドラマ館を委員会として早々に視察したい。体験型観光も視察して議論したい。

本日の議題は、以上であるが、この際、何かご意見等はあるか。また、執行部の方、何かあるか。

○崎浦観光国際局長

いずれも今後の参考となるご意見をいただいた。まず、体験メニューについては、これまで多く開発してきたものを、多くの外国人に知ってもらえるよう、体験を全面に出したプロモーションを行っていききたい。

岐阜県の知名度の低さについては、ご指摘のとおりであり、例えば、JR東京駅でのプロモーションにおいて、クイズ形式で名古屋から近いことをアピールしたが、こうした努力をしていきたい。

地域連携については、東美濃がここ数年の取組みで連携が取れるようになってきた。今後は、西濃について、県が協議会に関わることで強化していきたい。

また、新型コロナウイルス感染症が終息したら、ふっこう割等の観光キャンペーンなど積極的な策を実施していきたいので、その際には、ご支援・ご協力をお願いしたい。当面は、観光事業者の資金繰りができるように努力していく。

北米の事前視察では、ロサンゼルスとポートランドに行ったが、ロサンゼルスでのホテルはリトルトーキョーの真ん中で、日本文化が浸透していると感じた。また、GAS店舗から飛騨牛の提供について依頼があったとともに、日本に対する関心が高い場所なのでトップセールスを行うのは良い、とのお墨付きをいただいた。また、毎年、年間を通じてポートランドの日本庭園で行われる日本文化の紹介イベントについて、今年と来年はテーマが決まっているが、数年後に岐阜県の文化を紹介できればという話

もしてきた。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえる必要があるが、北米からの誘客強化への手応えを感じており、行くことになれば委員にもご参加いただきたい。

○村下貴夫委員

岐阜県の魅力度ランキングは、平成30年は36位、平成29年は40位である。一つの指標ではあるが、そういう観点からも魅力を向上していかないといけない。観光で行きたいランキングは、33位とまだまだPR不足である。

○布俣正也委員

飛騨牛の海外推奨店等への輸出について、新型コロナウイルスの影響は生じているか。

○田口農産物流通課長

現在47店舗ある飛騨牛海外推奨店は、一年を通して50キロ以上の飛騨牛を使用すればよく、直ちに認定に影響を及ぼすことはない。2月の輸出量は、香港・台湾で外出を控える傾向があり、全体で減少している。

○平野祐也委員

飛騨高山を含め、「岐阜」と名のつくものが少ない。ブランドとして「岐阜」を冠に掲げる商品に補助を出すとか、岐阜県の売り方を考えないといけない。

○野村美穂委員

提案だが、船に乗っている感じを体験できて、鵜の重さを感じられたり、鵜匠の衣装を着て、鵜を操りながら鮎を取り、写真も撮れるといったアミューズメント的な要素を取り入れた鵜飼体験があるとよいのではないか。

○玉田和浩委員長

世界農業遺産の審査で調査官が来た時に、郡上で友釣りを体験してもらったら感激していた。他に意見はあるか。

(「なし」の声あり)

意見も尽きたようなので、本日の次第を終了する。

なお、この特別委員会は、2年を目途に委員会として一定の提言を行うことを目指すものである。

そのため、特段の事情がない限り、来年度もこのメンバーで当委員会を開催するので、引き続き、よろしく願います。

それでは、これをもって、本日の委員会を閉会する。

魅力度向上対策特別委員会 配席図

令和2年3月10日(火) 10:00～
第4特別委員会室

入
口

		農産物流通課 東京オリンピック・パラリンピック 農産物販売対策室長 高木 賢二	海外戦略推進課 インバウンド推進監 加藤 英彦	観光企画課 観光コンテンツ活用推進室長 高井 哲也	観光企画課 管理監 浦崎 宏幸	関ヶ原古戦場整備推進課 施設整備企画監 澤村 隆幸		
--	--	--	-------------------------------	---------------------------------	-----------------------	---------------------------------	--	--

	農産物流通課長 田口 博康	海外戦略推進課長 寺島 禎見	観光企画課長 兼松 伸和	観光国際局長 崎浦 良典	観光国際局副局長 尾関 新太郎	関ヶ原古戦場整備推進課長 若山 典		
--	------------------	-------------------	-----------------	-----------------	--------------------	----------------------	--	--

